

# とうまの ★ 議会

No. **180**

2019 (令和元) 年  
5月



## 今月の主な内容

P 2 町政を問う(一般質問)

P 6 議案の審議

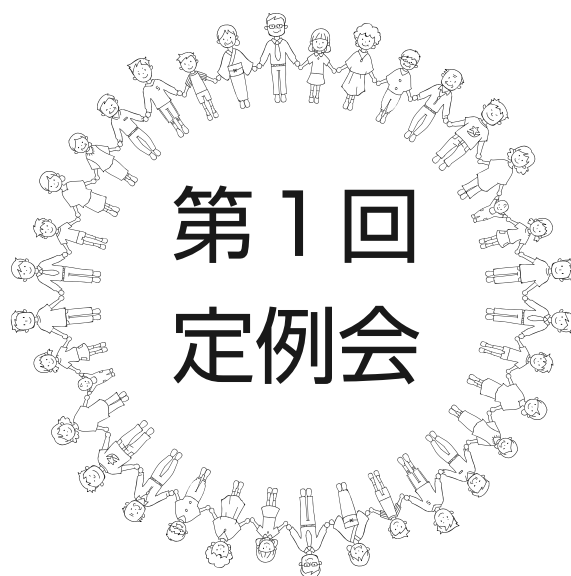
P 8 平成31年度予算審議

P11 第1回臨時会

P12 第2回臨時会

P13・14 議案審議・採決結果

P15 議会のうごき



平成31年

# 第1回定例会

平成31年第1回定例町議会は、3月5日に召集され、11日間の会期で開かれました。

初日は、町長の行政報告、平成31年度町政執行方針と教育長による教育行政執行方針につき、専決処分の承認、財産の処分、条例の改正6件、補正予算5件などが審議されました。

平成31年度当麻町一般会計予算ほか5特別会計及び水道事業会計予算については、予算審査特別委員会を設置し付託審査しました。

2日目(12日)は、議員が一般質問を行いました。

最終日(15日)は、12日より開催された予算審査特別委員会の審査結果報告、財産の処分、補正予算6件を審議しました。

なお、今号では第1回臨時会(1月11日)、第2回臨時会(3月25日)についてもお知らせします。

〔議案審議結果は13ページを

ご覧ください〕



ここが聞きたい

## 町政を問う！

第1回定例会では、中港、加藤、福山の3議員が一般質問を行い、町長と教育長の考えを尋ねました。(要旨にて掲載)

一般質問と答弁(再質問を除く)の全文を当麻町ホームページ「当麻町議会」に掲載していますのでご覧ください。

※今号における元号の表記について

第1回定例町議会、第1回臨時町議会、予算審査特別委員会、第2回臨時会のいずれも、新元号発表前の開催であったため、5月1日以降の日付についても全て「平成」と表記しています。



当麻町ホームページ/当麻町議会  
<http://town.tohma.hokkaido.jp/gikai/>



Q ふるさと納税について

A まちづくり  
積極的に活用する

問

中港議員

ふるさと納税が始まった背景には、労働者が都市部に集中している現状があり、自分を育ててくれたふるさとである自治体に対して、自分の意思で納税できる仕組みがあってもよいのではないかと問題提起がなされ、2008年にふるさと納税という名前で創設されました。

ふるさと納税は、実質的には使い方の指定ができる唯一の税で、納税額は2017年には9,641件、1億3,996万円でありますが、ふるさと納税者から使いかたの指定はありますか。

また、現在どのような返礼品があるのか、今後、新たな返礼品を考えているのか町長に伺います。



中 港 議 員

ふるさと納税とは

「ふるさと納税」とは、地方自治体への寄附制度のことで、自分が応援したいと思う自治体に寄附をすることで、地域貢献につながるだけでなく、その地域の特産品や名産品をお礼の品として受け取ることができるため、今では多くの方がこの制度を利用しています。さらに、寄附をした金額は税金から控除、還付されるため、自己負担が軽減されます。(直接税金として地方自治体に納めるのではなく、寄附による税控除を受ける形となります。)



答

町 長

ふるさと納税の寄附金は、まちづくり寄附条例に基づき、農業振興に関する事業、森林整備等に関する事業、子どもの育成支援に関する事業で使用することと定めており、平成31年1月までの寄附金の総額は、7億5,539万円です。

使い方の指定は、農業振興26・9%、森林整備等10・3%、子どもの育成支援28%、事業を指定しないもの34・8%となっています。

返礼品については、平成29年

4月に、返礼品の返礼割合を3割以下で、地場産品とする内容の通知があり、返礼品の見直しを行い、返礼品に体験ツアーや木遊館の木工品など新たな特産品を追加し、品数も21品から43品に増やしリニューアルも同時に行っています。

今後も、町のPR戦略として魅力ある地場産品の随時追加を行い返礼品の拡充に努めて、多くの方々から頂いた寄附金を、今後のまちづくりに積極的に活用していきます。



## 問

加藤議員

国保の均等割はゼロ歳児にもかかり、子どもが多い世帯ほど保険税の負担が増えるのは、これから子どもを産み育てやすくする少子化対策とも矛盾すると考えます。

全国知事会は2014年国保料(税)を協会けんぽの保険料並みに引き下げするために、均等割の見直しをはじめ1兆円の公費負担を政府に要望しました。

全国の自治体にひろがっている子どもに対する均等割の減免制度では、「第3子から全額免除」や「子どもについて3割減免」などのほか、すべての子どもについて全額免除する「完全免除」の制度があります。財源として一般会計からの法

## Q

国保税の子どもにかかる均等割について

## A

全国知事会等を通して国に要望



加藤 功

定外繰り入れを行っているため、子ども以外の被保険者の負担が増加するといった影響はないとのこと。

子どもの均等割の減免を考えるとはどうでしょうか。

最後に、国保の基金の平成30年度現在高が1億1,800万円ありますので、基金から繰り入れをして国保税全体の引き下げを行っていただきたいと思いますが、町長の考えを伺います。



加藤 議員

## 答

町長

国保税の子どもに対する均等割の減免・免除につきましては、現行では、国・道の公費で補われる低所得者に対する負担軽減として、世帯の加入者数と所得額に応じて、世帯平等割、均等割を軽減する措置があり、ここ数年、その判定基準額が引き上げられており、平成31年度についてもさらに拡充される予定です。

ご質問の子ども均等割減免については、全国町村会としても、全国知事会を通して国に対して、子育て支援の観点から、子どもに係る均等割の軽減を要請しているところです。

一般会計からの法定外繰り入れは、そもそも国保会計の運営上、原則、その趣旨にそぐわないため、当麻町は行いませんが、国保以外の健康保険に加入している子育て世帯との公平性を踏まえても、子どもの均等割減免・免除は現行制度と同様、国が責務を負う形での制度創設が望ましいと考えます。

町としては、本年度から国保制度が都道府県単位化となった

こともあり、北海道全体の課題として捉え、道とも連携しながら、全国知事会等を通して引き続き国に要望し、その動向を注視していきたいと考えています。

最後に国保運営基金の活用につきましても、今年度においても急激な負担増の抑制を含め、基金の繰り入れについて、適切に対応していきます。

## 問

加藤議員

子どもの均等割は、独自に減免することができ、全国的に広がっており、25の自治体がこれに取り組んでいる。

当麻町でもふるさと納税を充てて実施してはいかがでしょうか。

## 答

町長

全国のある部分の町の特徴だけ全部集約して当麻町で予算を組むと、町の財政はパンクします。

当麻町は独自の支援を数多く行っています。

子どもの均等割は、国に減免を要望しており、国で実施するものは、きちんと国にお願いしていくものと考えます。

※5ページ下段に補足説明があります。

**問** 福山議員  
 災害の発生を前提として防災関係機関が連携をし、災害時に発生する状況をあらかじめ想定・共有をした上で、「いつ」「誰が」「何をするのか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した事前防災行動計画「タイムライン」導入は防災・減災を実現する上で有効と考えますが、町長の見解を伺います。



福山議員



**Q** タイムラインの導入は

策定を検討する **A**

**答**

町長

タイムラインは、国及び地方公共団体、企業、住民等が災害時に連携した対応を行うことで被害を最小限に抑える防災行動計画であることから、防災・減災に対し有効な手段の一つと捉えています。本町においては、今年度中に「地域防災計画」の更新、来年度に「避難勧告等の判断伝達マニュアル」の策定及び「洪水ハザードマップ」並びに「職員初動マニュアル」を更新する計画であり、「洪水ハザードマップ」については解りやすい概要版を全戸配布する予定です。

今後においても関係機関、地域住民と連携・協議していく中で、タイムラインの策定についても検討していきます。



菊川町長

**問**

福山議員

各地域の災害リスクについて、地域住民に周知することが大事であり、また、計画は作って終わりではなく、訓練をしなければ身に付かないものであると考える。

地域住民並びに関係機関が、実際に訓練する場というのが非常に重要であると捉えているが見解を伺いたい。

**答**

町長

地域住民への周知は最も大切な方法だと思っており、訓練を含めて停電時の情報伝達など課題も見つかっていますので、十分検討を加えながら、住民との周知対話を進めていきたいと思っています。



防災スピーカー

※前ページから  
 当麻町独自の子どもたちへの支援



当麻町では多くの子育て支援を行っていますが、中でも当麻町独自の支援として次の事業を実施しています。

① 修学旅行経費の助成  
 町内在住で、小中学校に通うお子さんの修学旅行経費を全額当麻町で補助します。

② はばたけふるさと応援事業  
 高校生の就学支援と経済的負担軽減を目的に、1人あたり3年間で15万円の補助をします。

**問**

福山議員

近年、全国で導入が進められているコミュニティ・スクールは学校と保護者、地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を目指しており、本町においては来年度から準備委員会を設立して導入を推

進するとあります。

しかし、コミュニティ・スクールの運用方法によっては教職員のさらなる負担や、地域住民への周知や理解という点において課題も挙げられています。本町において導入を推進する目的と、コミュニティ・スクール導入により、新たにどのような教育・まちづくりを目指していくのかを教育長に伺います。

**Q**

コミュニティ・スクールは

**A**

当麻型の導入に向け検討

**答**

教育長

本町においては、コミュニティ・スクールに期待される役割を既存組織が担っており、これまで培われてきたものを継続させるために、組織の構築が必要と考えています。

教職員のさらなる負担が増えるのではないかとの指摘がありますが、地域と連携した学校支援の取組みであり、教職員の負担を求めるものではありません。

ん。

また、この取組みを推進、発展させていくことで地域への理解や関わりも深まるものと考えています。

いずれにしましても、学校と地域が協働できる望ましい教育環境の充実を図るため、当麻型コミュニティ・スクールの導入に向け、検討・協議を進めていきたいと考えています。



**専決処分**

北海道市町村総合事務組合規約の改廃について

北海道を構成員とする団体や一部事務組合を構成団体とするため、共同処理する事務を委託・受託できるよう、現行規約を廃止し、新たに規約を制定しました。



**条例**

上川中部子ども通園センターの共同設置について  
当麻町子育て総合センター条例の一部を改正する条例について

当麻町母子通園センター条例を廃止する条例について

比布町、愛別町、上川町、当麻町の四町により共同で設置運営を行っている母子通園センターについて、地方自治法に則した共同設置の規約を制定することに伴い、現在の母子通園センター条例を廃止し、引用する条例の改正をしました。

当麻町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

人事院勧告に伴い、長時間労働の是正として、超過勤務命令の上限が定められたことにより、正規の勤務時間以外の勤務に必要事項を規定しました。

当麻町福祉サービス手数料徴収条例の一部を改正する条例について

本年4月から高齢者の介護予防事業を見直すことに伴い、生きがいデイサービスを廃止することから、本サービスの手数料を削除しました。

当麻町水道事業給水条例の一部を改正する条例について

学校教育法の一部を改正する法律により、本年4月から専門職大学が創設されることに伴い、布設工事監督者及び水道技術管理者の資格要件について所要の改正を行いました。

当麻町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について

土地改良法の改正に伴い、引用する条文に条ずれが発生していることから、改正を行いました。



## 財産

### 財産の処分について

町有林皆伐事業の実施に伴い生産された素材を当麻町森林組合に売り払うものです。

処分する素材は、トドマツ外1, 549・71㎡で、契約金額は1, 227万9千6百円です。



## 補正予算

### 平成30年度当麻町一般会計補正予算(第8号)

現行の予算から3, 378万9千円を減額し、予算の総額を59億9, 897万9千円としました。

◎補正の主な内容  
事業の完了による計数整理を行いました。

### 平成30年度当麻町国民健康保険特別会計(事業勘定)

#### 補正予算(第3号)

現行の予算に5万円を追加し、予算の総額を8億9, 226万6千円としました。

#### ◎補正の主な内容

福祉医療費助成に伴う療養給付費負担金の集計システムのソフトウェア改修で、共同電算処理委託料の増により、増額しました。

### 平成30年度当麻町国民健康保険特別会計(医科診療施設勘定)補正予算(第4号)

現行の予算に29万1千円を追加し、予算の総額を1億378万3千円としました。

#### ◎補正の主な内容

電気料金の値上がりや医療用機械器具の修繕料の増により、増額しました。

### 平成30年度当麻町介護保険特別会計補正予算(第5号)

現行の予算に1, 988万4千円を追加し、予算の総額を10億5, 804万9千円としました。

#### ◎補正の主な内容

各種介護サービス利用者の増に伴うサービス給付金の増により、増額しました。



### 平成30年度当麻町水道事業会計補正予算(第5号)

現行の資本的収入の総額から5, 291万9千円を減額し、4億7, 225万7千円に、資本的支出の総額から5, 289万円を減額し、5億2, 376万9千円としました。

#### ◎補正の主な内容

当麻町浄水場建設事業の事業費確定に伴い減額しました。



# 平成31年度 予算審議

## 予算総額 99億4,163万円



善光委員長

平成31年度当麻町一般会計ほか5特別会計予算及び水道事業会計予算は、議長を除く全議員で構成の『予算審査特別委員会（善光委員長・西川副委員長）』を設置し審査を行いました。

審査の結果、各会計予算案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 平成31年度 各会計予算額

一 般 会 計		62億5,700万円
特 別 会 計	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	8億6,550万円
	国民健康保険特別会計 (医科診療施設勘定)	1億650万円
	後期高齢者医療特別会計	1億1,430万円
	介護保険特別会計	11億980万円
	公共下水道事業特別会計	1億1,740万円
	水道事業会計 収益的支出	1億6,152万1千円
	水道事業会計 資本的支出	12億960万9千円
総 額		99億4,163万円

前年度比 11億4,064万7千円増



質 疑

一般会計歳出

総務費

**問**

福山委員

番号制度対応システム中間サーバ負担金で、前年比の増減について説明を。

**答**

総務課長

国が進める番号制度のシステム改修による市町村の負担金の増です。

**問**

福山委員

駅前再整備事業で具体的な展望はあるのか。

**答**

まちづくり推進課長

駅前については商業施設なので、企業誘致、テナントを考えており、郷土資料館改修と併せて、どのような形が良いのか関係機関と協議していきたいと思えます。

**問**

福山委員

地域の防災計画を策定するにあたり、災害の規模や種類により避難所としてそぐわない場所について、どのように検討していくのか。

**答**

総務課長

地域と行政と協議して、新たに策定しなおすところは見直していきたいと思えます。

**問**

西川委員

防災用ストープ購入費の補助事業が実施されるが、小型発電機の購入補助についての考えはないのか。

**答**

総務課長

小型発電機は、停電時には大変有効ですが、昨年の大規模停電時には発電機による一酸化炭素中毒の死亡事故報道もあり、安全性を一番に考慮した結果、対象外としました。

**問**

加藤委員

消費税が10%に上がった場合、公共料金に転嫁されるのか。

**答**

総務課長

使用料、手数料は10月の消費税改定に合わせて検討し、条例改正を経て、平成32年4月

から施行予定で考えています。

水道料金についても、平成9年以降、料金の見直しを実施していないため、今年度中に協議し、来年度と考えています。

**問**

中港委員

行政区の防犯灯電気料金の補助は、町で一括契約して、町から一括で支払うということにならないか。

**答**

総務課長

電気料金は、請求も含めて電力会社と協議し、できる範囲で改善を考えていきたいと思えます。

民 生 費

**問**

西川委員

保育所の特別支援事業補助金について、本年度と新年度予算の増加の内容は。

**答**

福祉課長

本年度は、ほぼ保育士1名分の賃金支援です。新年度は、300万円の4人分で1,200万円、その二分の一で上限は600万円です。 ※補足説明があります。

保育所の特別支援事業補助金とは

当麻保育園に対し、保育士の加配を行うことで、障がい児の処遇の向上を図り、児童福祉の向上に資することを目的とした補助事業補助金です。平成31年4月から、補助金の交付基準が変更となり、事業実施のために保育士の加配を行う経費として月額20万4千円×12月分の予算を、保育士(4人まで)の人員費の2分の1の額で上限600万円と改めたことから、新年度予算では、上限600万円が計上されました。

**問**

加藤委員

高齢者ハイヤー料金助成事業に加えてバスの補助制度もあれば、との町民の要望があるが。

**答**

町 長

現在、JRの利用拡大のさなかで、石北本線が存続できるかの時であり、今、バスに特化した制度を作るといのはふさわしくないと考えます。

衛生費

**問** 加藤委員  
火葬場のトイレを、和式から洋式に替えて欲しいとの要望があるが。

**答** 税務住民課長  
平成31年度予算では、女性用トイレと障がい者用トイレの洋式便座を暖房機能付きに改修する計画です。

男性用トイレは、スペースや配線などの関係で現状のままですが、障がい者用トイレの名称を「みんなのトイレ」と変更し、男女問わず高齢者の方もご利用いただくよう案内したいと思えます。

**問** 福山委員  
乳幼児健康診査事業について、新しい検査方法など自身の充実を検討することが必要と感じるが、見解は。

**答** 健康課長  
検査内容に変更はありませんが、ご意見等は専門職に伝えていきたいと思えます。

土木費

**問** 加藤委員  
公営住宅や老人住宅の引き継ぎには、新しい入居者が快適な生活を送れるように、たとえば流し台やトイレなど、悪いところがあればリフォームをして受け渡ししているのか。

**答** 建設水道課長  
カビなど全部確認して改修するか検討し、入居される方に不快感を与えないよう、きれいに清掃して引き渡すようにしています。



**問** 前田委員  
橋の長寿命化計画について、架け替えが難しい橋の補修修理は、どのような形で行うのか。

**答** 建設水道課長  
出来る範囲のことで、調整を図っていききたいと思えます。

教育費

**問** 山下委員  
郷土資料館のどの部分を委託に出すのか。

**答** 教育課長  
本年度の補強改修計画委託の内訳は、既存構造等調査、共同設計業務、改修計画の委託です。

**問** 山下委員  
建物自体のどの部分か。

**答** 教育課長  
構造の関係で、柱や壁、梁の増強の計画です。

**問** 山下委員  
今ある建物の現存している部分全部なのか、それとも2階の部分ととらえていいのか。

**答** 教育課長  
裏のトイレを撤去し、2階の一部も撤去してスマートな感じの郷土資料館にと考えています。

1階は町民のみなさん、特に子どもたちに寄り添うような位置付けとし、2階は今ある展示物をきれいな形で展示、資料として残していきたいと考えています。



郷土資料館

一般会計  
歳入一括

**問** 山下委員  
オートオアシスに観光バスが停まることが多くなっており、海外の方の利用も増えているので、トイレを和式から洋式に取り換える要望が必要と思うがどうか。

**答** 建設水道課長  
道に要望はしており、更に強固に要望していきたいと思えます。

ます。

# 総括質疑 7 会計

## 問

中港委員

高齢者の除雪を社協に依頼しているが、地域の拠点に除雪機械を配置することにより、除雪支援がスムーズに行えると思うがどうか。

## 答

町長

支援体制が弱い弱になっているので、関係機関と協議し検討していきたいと思えます。

## 問

加藤委員

企業誘致について、どのように考えているか伺いたい。

## 答

町長

1社でも2社でも当麻町にきていただければありがたいと思っております。

平成31年1月11日開催

# 第1回臨時会

平成30年度当麻町水道事業会計補正予算（第4号）について審議しました。

〔議案審議結果は13ページをご覧ください〕

## 平成30年度当麻町水道事業 会計補正予算（第4号）

現行の資本的支出の総額に1,200万円を追加し、5億7,665万円としました。

### ◎補正の主な内容

冬季の水道原水井戸が、例年以上の水位低下を示したことから、渇水期に対処するため、補水用井戸設置工事に伴う工事請負費を増額しました。



町政はあなたのために…



## 議会を傍聴しましょう

- 町議会の定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。
- 町議会の臨時会は、必要に応じて随時開かれます。

次の定例会は6月です。お気軽にお越しください。

平成31年3月25日開催

# 第2回臨時会

財産の処分について、一般会計および5特別会計の補正予算について審議しました。

〔議案審議結果は13ページをご覧ください〕



## 財産

### 財産の処分について

町有林利用間伐事業に伴い生産された素材を、当麻町森林組合に売却するものです。

処分する素材は、トドマツ外1, 803・273㎡で、契約金額は、1, 555万2千円です。



## 補正予算

### 平成30年度当麻町一般会計補正予算(第9号)

現行の予算から1億852万2千円を減額し、予算の総額を58億9, 045万7千円としました。

#### ◎補正の主な内容

各事業完了に伴う計数整理による減額を行いました。

### 平成30年度当麻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)

現行の予算から365万8千円を減額し、予算の総額を8億8, 860万8千円としました。

#### ◎補正の主な内容

療養給付金及び退職被保険者高額医療費の減などにより減額しました。

### 平成30年度国民健康保険特別会計(医科診療施設勘定)補正予算(第5号)

現行の予算に219万1千円を追加し、予算の総額を1億5, 97万4千円としました。

#### ◎補正の主な内容

公課費平成25年度から平成29年度に係る消費税の増により増額しました。

### 平成30年度当麻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

現行の予算から586万9千円を減額し、予算の総額を1億1, 433万1千円としました。

#### ◎補正の主な内容

被保険者保険料の減に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金の減額を行いました。

### 平成30年度当麻町介護保険特別会計補正予算(第6号)

現行の予算から2, 816万2千円を減額し、予算の総額を12億2, 988万7千円としました。

#### ◎補正の主な内容

各種介護サービスの利用者減に伴う保険給付費等の減額、介護給付費準備基金積立金の負担割合確定により減額を行いました。

### 平成30年度当麻町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)

現行の予算に115万9千円を追加し、予算の総額を1億7, 95万7千円としました。

#### ◎補正の主な内容

夏季の大雨により、汚水処理量が増加したことに伴う汚水処理負担金や、ポンプ運転に係る電気料の増による増額を行いました。

## 議案審議の結果

### 第 1 回 臨時会

事件番号	件名	結果	議決月日
議案第1号	当麻町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	1月11日

### 第 1 回 定例会

事件番号	件名	結果	議決月日
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて	承認	3月5日
議案第2号	上川中部こども通園センターの共同設置について	原案可決	
議案第3号	当麻町子育て総合センター条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第4号	当麻町母子通園センター条例を廃止する条例について	原案可決	
議案第5号	当麻町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第6号	当麻町福祉サービス手数料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第7号	当麻町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第8号	当麻町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	
議案第9号	財産の処分について	原案可決	
議案第10号	平成30年度当麻町一般会計補正予算（第8号）	原案可決	
議案第11号	平成30年度当麻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）	原案可決	
議案第12号	平成30年度当麻町国民健康保険特別会計（医科診療施設勘定）補正予算（第4号）	原案可決	
議案第13号	平成30年度当麻町介護保険特別会計補正予算（第5号）	原案可決	
議案第14号	平成30年度当麻町水道事業会計補正予算（第5号）	原案可決	
議案第15号	平成31年度当麻町一般会計予算	原案可決	3月15日
議案第16号	平成31年度当麻町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算		
議案第17号	平成31年度当麻町国民健康保険特別会計（医科診療施設勘定）予算		
議案第18号	平成31年度当麻町後期高齢者医療特別会計予算		
議案第19号	平成31年度当麻町介護保険特別会計予算		
議案第20号	平成31年度当麻町公共下水道事業特別会計予算		
議案第21号	平成31年度当麻町水道事業会計予算 〔予算審査特別委員会付託（7件）〕		
	閉会中の所管事務調査の申し出について（総務文教常任委員会） （産業福祉常任委員会） （議会運営委員会）	承認	

### 第 2 回 臨時会

事件番号	件名	結果	議決月日
議案第22号	財産の処分について	原案可決	3月25日
議案第23号	平成30年度当麻町一般会計補正予算（第9号）	原案可決	
議案第24号	平成30年度当麻町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）	原案可決	
議案第25号	平成30年度当麻町国民健康保険特別会計（医科診療施設勘定）補正予算（第5号）	原案可決	
議案第26号	平成30年度当麻町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第27号	平成30年度当麻町介護保険特別会計補正予算（第6号）	原案可決	
議案第28号	平成30年度当麻町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決	

## 議案の採決結果

	福山議員	西川議員	片原議員	善光議員	加藤議員	澤田議員	前田議員	中港議員	山下副議長	成田議長
承認 第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○=賛成 ×=反対 欠=欠席

ただし、議長は職務上、採決に参加していません。

(議席順)

2月13日 ⇨ 5月10日

議会の傍聴や、  
議事堂の見学を  
してませんか。

- 2月** 15日 全員協議会  
19日 総務文教常任委員会  
20日 産業福祉常任委員会  
22日 議会運営委員会  
27日 全員協議会  
大雪浄化組合議会定例会（組合議員⇒愛別町）  
愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会（組合議員⇒愛別町）  
28日 自衛隊旭川地方協力本部当麻町自衛隊協力会研修意見交換会（議長）

- 3月** 5日 第1回定例会  
予算審査特別委員会  
8日 議会運営委員会  
11日 当麻町地域農業再生協議会（議長・産業福祉委員長）  
12日 予算審査特別委員会  
14日 当麻中学校卒業式  
15日 全員協議会  
議会報編集特別委員会  
16日 当麻幼稚園卒園式  
19日 当麻小学校卒業式  
20日 宇園別小学校卒業式  
22日 大雪消防組合議会定例会（組合議員⇒美瑛町）  
25日 第2回臨時会  
議会報編集特別委員会  
オホーツク圏活性化期成会上川地方総合開発期成会合同石北本線  
部会（議長⇒北見市）  
29日 柏陽園落成祝賀会  
教育関係三者送別会（正副議長・総務文教委員長）

- 4月** 1日 教育関係三者歓迎会（正副議長・総務文教委員長）  
3日 J A当麻第72回通常総会（議長・産業福祉委員長）  
議会報編集特別委員会  
5日 交通安全関係団体結団式（正副議長）  
当麻小学校入学式  
宇園別小学校入学式  
当麻中学校入学式  
6日 当麻幼稚園入園式  
9日 J A胡瓜選別施設完工式  
集荷場安全祈願祭（正副議長・産業福祉委員長）  
11日 当麻町米麦改良協会定期総会（産業福祉委員長）  
地域農業再生協議会（産業福祉委員長）  
15日 議会報編集特別委員会  
23日 議会報編集特別委員会  
26日 自衛隊協力会・防犯協会・交通安全協会総会（正副議長）  
27日 観光施設クリーン作戦

- 5月** 8日 第3回臨時会（初議会）  
10日 開町記念式

にゆうがく おめでとう



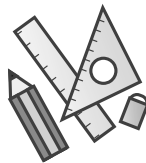
入学  
おめでとう!



編集

議会報編集特別委員会

- 委員長 福山 寛人
- 副委員長 澤田 なぎさ
- 委員 山下 勝博
- 委員 片原 康夫



表紙

これから迎える入学式  
 ぼくもわたしも  
 今日から1年生!  
 ともだち100人  
 できるかな?



あいう